



こどものまち「ミニミニさっぽろ2006」  
こどものまち「ミニさっぽろ2007」  
こどものまち「ミニさっぽろ2008」

札幌市民憲章推進会議 (2006)  
ミニさっぽろ2007実行委員会 (2007)  
ミニさっぽろ2008実行委員会(2008)

事務局：  
〒060-0051  
札幌市中央区南1条東1丁目(大通バスセンタービル1号館3階)  
札幌市子ども未来局子ども育成部子どもの権利推進課  
Tel 011-222-4849  
問い合わせ先:札幌市コールセンター  
info4894@city.sapporo.jp

開催記録：  
第1回 2006年 9月16日・17日 旧札幌市立大通小学校  
第2回 2007年 9月29日・30日 月寒アルファコートドーム  
第3回 2008年10月 4日・ 5日 アクセスサッポロ

主催団体の概要

札幌市民の心のよりどころである『わたしたちは時計台の鐘がなる札幌の市民です』から始まる「札幌市民憲章」の普及・啓発を図る札幌市民憲章推進会議が主催し、2006年に始まりました。翌年からは札幌市なども参画した実行委員会形式に変更し、現在に至っています。実行委員会の構成は、札幌市民憲章推進会議と札幌市、北海道フットボールクラブ(プロサッカーチーム「コンサドーレ札幌」の運営会社※)以外は、毎年度異なります。(※=通貨の単位名にマスコットキャラクターの名前をつけさせていただいている)

まちの特徴

第1回目は屋外スペースも活用しましたが、9月半ばには朝夕にはストーブが必要なほど寒くなるという北海道の気候への対応や天候の影響を避けるという点から、第2回目以降は、屋内で実施しています。第1回目はボランティアスタッフを数多く配置し、経費も市民憲章推進会議が負担して実施しましたが、第2回目からは札幌市も負担金を支出するとともに企業協賛を募り一部に企業ブースを導入、第3回目からは基本的にブースの企画・運営を全て出展企業に委ねる手法に変更しました。その結果、自動車や厨房機器、スタジオ設備など本物を使ったキッズニアみみたいな職業体験の場になってきています。

プログラム

札幌商工会議所総合建設関連部会、警察署、市税務署、清掃会社、ミニさっぽろ市民憲章推進会議、市役所、气象台、交通局、ハローワーク、保健所、自動車リサイクルセンターライズ、シェラトンホテル札幌、butokura科学研究所、北海道エネルギー、きのとや、処方せん調剤ナカジマ薬局、ミニほっかいどう銀行、ミニほっかいどう銀行研修所、日本航空、ALSOK、北海道新聞社こどものまち支局、清心流空手道、シーズ・ラボデザイン工房、株式会社ジェーシービー、EC英会話×NOVA、北海道CSK、STV、アクターズスタジオ、FMアップル、写真館 スタジオアン、ジェラテリア・レディ・ローマ、北海道コカ・コーラボリリング、ミニフラワーショップ、くじ屋ラッキーデニム、アクセサリーのクローバー、レストランMotto Motto、JKバーガー、ミニ元気ショップ、コンビニエンスストア、ファンシー文具屋、わたあめ屋、お菓子屋、わなげや、リングでゲット!